



# 開成中学校



- ◆ 問 合 せ TEL : 03 - 3822 - 0741
- ◆ 公式HP <https://kaiseigakuen.jp/>
- ◆ 所 在 地 〒 116 - 0013 東京都荒川区西日暮里 4 - 2 - 4
- ◆ 最 寄 駅 JR・東京メトロ・日暮里舎人ライナー | 西日暮里



●学校の特徴

- 【創立年・創立者】1871（明治4）年 佐野 鼎
- 【教 育 理 念】「開物成務」（人間性を開拓、啓発し、人としての務めを成す）  
「ペンは剣よりも強し」（どんな力にも屈することのない学問・言論の優位を信じる精神）  
「質実剛健」（外見を飾ることなく内面が充実していて、たくましく揺るぎようがない様子）  
「自由」（「自主」と「自律」を礎に、みずから開拓し、育んでいく積極的な「自由」）
- 【教 育 方 針】尖った個性をのばし、多様性を深く理解し、グローバルに活躍・信頼されるたくましい大人を育てる
- 【学 校 生 活】同学年の仲間は言うに及ばず、先輩・後輩とぶつかり合う機会を通じて、他人と共感する力、問題を発見し解決していく力、ひとつのことを協力して作り上げる喜び、等々、社会で大きくはばたくために必要な、伸びやかで豊かな「人間力」の基礎を養う
- 【学 校 行 事】運動会 文化祭 観劇会（中）ボートレース（筑波大学附属高校戦） 修学旅行（中3・高2）学年旅行（中1・2・高1） など
- 【施 設・設 備】グラウンド（第1・第2） 図書館（蔵書数：中学約 20,000 冊、高校約 60,000 冊） 天体観測ドーム 校史資料室 那古宿舍（千葉県館山市） など ※創立 150 周年記念事業として高校校舎を建替

●2025 年度募集要項

| 試験区分 | 募集<br>定員 | 試験日     | 会場 | 試験型  | 科目・配点・試験時間 |      |      |      |    |    |       |       | 合格<br>発表 |
|------|----------|---------|----|------|------------|------|------|------|----|----|-------|-------|----------|
|      |          |         |    |      | 国語         | 算数   | 理科   | 社会   | 英語 | 面接 | その他 ※ | 満点    |          |
|      |          |         |    |      | 50 分       | 60 分 | 40 分 | 40 分 | -  | -  | -     |       |          |
| 一般   | 300 名    | 2/1 (土) | 本校 | 4 科型 | 85 点       | 85 点 | 70 点 | 70 点 | -  | -  | -     | 310 点 | 2/3 (月)  |

※その他……弁当を用意すること（昼食後に社会を受験）

●併設高の大学合格実績 ◆2024 年度入試

| 主要国公立   | 合格者<br>合計 | 合格者<br>医学部（医） | 主要私立<br>その他 | 合格者<br>合計 | 合格者<br>医学部（医） |
|---------|-----------|---------------|-------------|-----------|---------------|
| 東京大     | 149       | 12            | 慶應義塾        | 193       | 11            |
| 京都大     | 19        | 4             | 早稲田         | 245       | ／             |
| 北海道大    | 8         | 2             | 上智          | 36        | ／             |
| 東北大     | 13        | 1             | 東京理科        | 80        | ／             |
| 大阪大     | 1         |               | GMARCH      | 65        | ／             |
| 九州大     | 3         |               | 東京慈恵会医科     | 10        | 10            |
| 東京工業大   | 10        | ／             | 順天堂         | 7         | 7             |
| 一橋大     | 9         | ／             | 日本医科        | 10        | 10            |
| 千葉大     | 12        | 8             | 防衛医科        | 13        | 13            |
| 東京医科歯科大 | 7         | 7             | 海外の大学       | 4         |               |
| 国公立計    | 270       | 53            | 私立他計        | 722       | 86            |

【指定校推薦】  
非公表

●学費等

| 2025 年度 | 入学金     | 設備拡充資金  | 授業料     | 施設維持費  | 実験実習料  | その他     | 初年度合計     | 6 年間の目安   |
|---------|---------|---------|---------|--------|--------|---------|-----------|-----------|
| 入学手続き時  | 320,000 | 120,000 | -       | -      | -      | -       | 1,256,200 | 5,847,200 |
| 初年度     | -       | -       | 492,000 | 72,000 | 72,000 | 180,200 |           |           |

※「その他」は、父母と先生の会費、生徒会会費、学級費（学年旅行費・教材費等）  
※第 2 学年以降「施設拡充資金」70,000 円 / 年 ※内部進学者は高校進学時「入学金」半額

●3 年間の入試データ

| 年度   | 区分 | 出願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 実質倍率 | 合格最低点   |
|------|----|------|------|------|------|---------|
| 2025 | 一般 | 1234 | 1146 | 431  | 2.7  | 202/310 |
| 2024 | 一般 | 1259 | 1190 | 424  | 2.8  | 216/310 |
| 2023 | 一般 | 1289 | 1193 | 419  | 2.8  | 237/310 |

●併願パターン例

| ランク | 入試前       |           |       | 入試当日 | 入試後    |            |           |
|-----|-----------|-----------|-------|------|--------|------------|-----------|
| 挑戦  |           | 灘         |       | 開成   |        |            | 筑波大附属駒場   |
| 相応  | 西大和学園（東京） | 渋谷教育学園幕張① |       |      | 聖光学院①② | 渋谷教育学園渋谷②③ | 渋谷教育学園幕張② |
| 安全  | 栄東（東大特待Ⅰ） | 市川①       | 立教新座① |      | 栄光学園   | 海城②        | 早稲田②      |



発表日が 2/3 になるため、2/1～3 のチャートは固定となる。その点に十分に留意して 2/2 受験校を検討したい。2/1 午後受験も積極的に活用し、万が一の長期化にも備えておく。

●入試問題分析

| 科目  | 傾 向                                                                                                                                                                            | 出 題                                                                                                                                                                                   | 対 策                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国 語 | 【読み取りは深く、説明は端的に】<br>近年は、説明的文章と物語文の 2 題構成（2022 年のみ物語文 1 題）。全問記述式で、1 問あたり 50 ～ 100 字だが、課題に対して字数が少ない。読み取りは深く、でも端的な説明を求められるところに本校の難しさがある。物語文は長文。短時間でキーワードをつかみ、絶妙な言葉を厳選して言い換える力が必要。 | 【勝負できるところで手堅く点を取る】<br>本年の変化は 2 つ。記述抜き出しが消滅、自由記述 6 問になる。また、説明文の代わりに、大問 2 で随筆が出る。著者が哲学者のため、比喩が多く難解。問題も比喩の言いかえが中心である。そのため、言いかえの度合いが少ない大問 1 と大問 2 の問 2 で、手堅く点を取ることが大事。勝負できる問題を見極める力も必要。   | 【本質的な力を養う勉強を】<br>本校の国語で求められるのは、厳選した言葉で、エピソードを要約し、心情を読み取る力である。まずは本文の重要な言葉に線を引き、要点をつかむ演習をしよう。それを元に、「どんな出来事?」「どんな意味?」「どんな気持ち?」の 3 つを最小限の言葉で説明しよう。同時に、言い換えに必要な語彙も身につける必要がある。小手先の技術だけでは、通用しない。本質的な力を養う勉強を積み重ねる事が、合格への道である。        |
| 算 数 | 【最難関校にふさわしい本格派】<br>本校は例年 3 ～ 5 題の大問からなり、解答用紙に式や考え方を書く形式となっている。頻出分野は「図形」「数の性質」「速さ」「場合の数」「推理」「論理」で、良く練られた本格的な問題が並んでいる。空間や図形の認識力、数的処理能力、論理的思考力などが試される問題が頻出だが、中でも思考力重視の傾向が強く感じられる。 | 【思考力重視が前面に出た良問】<br>本年は大問数が 4 題、大問 1 は小問が 2 問だった。大問 1 は工夫の余地がある面積の単位換算と、数値が煩雑な割合の文章題、大問 2 は長方形の分割により点数が決まるパズル系の難問、大問 3 は速さ・グラフをベースにした思考力が要求される差がつきそうな問題、大問 4 は立体の切り口を作図する問題、という内容であった。 | 【思考力・処理能力＋作図力】<br>出題される分野の傾向はある程度決まっているが難易度のばらつきが大きい。2023 年の高得点勝負の後、思考力重視の適度な難易度が 2 年続いた。本年は作図がカギとなった可能性もあり、様々な能力がハイレベルで要求された。難易度に左右されないよう、基本を徹底し、出題者の意図をくみ取れる思考力を養い、自らの頭で考え、最適な処理が行えるように鍛えなければならない。メンタル、技術を含め、隙の無いように仕上げたい。 |
| 社 会 | 【知識とスピードの勝負】<br>本校の社会は大問 2 ～ 4 題の構成で、総設問数は 50 ～ 70 問。試験時間 40 分に対し設問数が多いので、スピーディーに解答しなければならない。内容は比較的平易で、用語（漢字指定あり）で答える問題が多い。東京都に関する「ご当地問題」も頻出である。受験者層を考えると、70 点満点中 50 点以上はとりたい。 | 【平易な歴史問題を確実に正解すべし】<br>本年は大問 2 題。大問 1 は歴史で、小問数 17・解答数 35 と多いが、内容は易しいので 8 割以上は正解したい。大問 2 は地理・公民の融合問題で、大問 1 に比べてやや難しく、ここの出来不出来で大きな差になった可能性がある。なお、大問 1・2 とともに東京都に関する事項が問われていて、対策は怠れない。    | 【知識重視の当たり前の勉強を】<br>最難関校にもかかわらず、ほとんどの出題は基礎的な知識事項とその活用なので、高得点をとれるように万全の準備をしておくべきである。知識事項は穴がないように、過去問などの演習を多めにし、苦手な分野は弱点ノートとしてまとめておくのがよい。用語を答える問題は漢字指定が多いので、表記ミスで失点しないように十分注意したい。地元の東京に関することのみならず、様々なことに広く関心をもって勉強を進めてほしい。      |
| 理 科 | 【学校のレベルの割には易しい】<br>身近な現象から「?」を導かせるリード文は秀逸。例年 4 分野からまんべんなく出題されており、本年度も同様だった。グラフの読み書きは毎年定番だが、本年度はなし。グラフ作成の問題や作図はよく出題されるので注意が必要。近年は記号選択・語句・数値を答えさせる問題を主としており、本年度もこのパターンだった。       | 【例年通り 4 分野 4 題】<br>大問 1 は化学分野「砂糖と食塩の区別と分離」。大問 2 は物理分野「ばねの伸び縮み」。大問 3 は地学分野「天体・気象」。大問 4 は生物分野「クモの巣の張り方」。この中で大問 2 の難度が高い。ばねを構成する金属線の断面積・ばねの径・ばねの長さの表から与えられたばねの伸び縮みを計算する問題。               | 【総合的な解答力を】<br>表やグラフの読み書きが多いため、ある程度の基本学習が終わったら、表とグラフの問題を徹底的に行い、得点できるようにしていきたい。リード文を読みとれれば「知識」にこだわる必要はないが、あればあるほど有利。上位校を受験する中学受験生として必要な「知識」は備えておきたい（開成を受験するライバル達はこの程度のことは知っている、という意識で）。各種図鑑と高校生用の資料集があると理解の助けになる。              |